

令和6年度 矢渕中学校「学校関係者評価」

令和7年3月21日（金）
紀宝町立矢渕中学校

第5回学校運営協議会（学校関係者評価委員会）を開催し、学校関係者評価を行っていただきました。結果およびご意見等については下記の通りです。

【関係者評価～観点】

- A：よく取り組んでいる。満足のいく取組である。
- B：おおむね満足のいく結果であるが、もう少しの成長が見込まれる。
- C：満足いく結果には至っていないため、さらに努力が必要である。

1. 評価について

項 目	A	B	C
A. 一人残らず学びの権利を実現する (「学習指導」に係る評価)	5	6	0
B. 生徒一人ひとりの良さを認め合える教育活動を進める (「人権学習」「生徒指導」に係る評価)	5	6	0
C. 家庭や地域と連携し「地域とともに育つ学校づくり」を進める (「地域とともにある学校」に係る評価)	8	3	0
D. 想いを共有しチームで協働する学校運営体制を構築する (「組織的な学校運営」に係る評価)	8	3	0

2. 意見等（主な内容）

- 保護者評価がどの質問項目も「C・D」が10～15%となっているなど、教職員評価との差がみられる項目もあります。学校が情報発信してもなかなか届けることができない状況です。情報が届いていないのか、届けても受け取ってもらえていないのか・・・？情報発信の方法、改善を検討してみてください。今も十分にやってもらっているとは思いますが、さらなる取組をお願いします。
- 先生方の多岐にわたる取組・活動等、大変さを感じます。1年間お疲れさまでした。成果・課題についての結果等の内容については、少し抽象的な表現に思いましたので、もう少し具体的な取組・結果等の報告をあげていただければ幸いです。
- PDCAの活用。

- 今後も取組を維持・継続していただきより良い学校運営をお願いします。書面での保護者への連絡事項をSNS等に切り替える事でより学校での内容を理解していただけるのではないかと考えます。見落とすこと（配付物）が多々あると思います。
- 生徒一人ひとりの良さを認め合える教育活動は、概ね方向性に狂いなく邁進されているのではないのでしょうか。リスペクトしてるよって事を、人により伝えることは難しい。特に自分の事で精一杯であったり、思っているも伝わらなかつたり、とくかく結果に時間のかかる事柄であると思います。
- 自己を肯定できると他人の良さも見えてくる。家庭や友人間での居場所が温かければ安定した時間を共有できる。もっともっと親の関心を学校に向けて欲しい。それはエンドレスな悩みですよね。先生方は一生懸命、それを根気強く発信することで、多くの時間と労力を使って下さっています。全てに伝わらなくとも、今現在伝わらなくとも、その姿は生徒にも親にも先生同士にもジワリジワリ伝わっていくと思います。
- 今、触れ合っている時間が、彼らが大人になることでまた生きる指針になればイイなあと思っています。子どもたちを大切にさせて頂いてありがとうございます。
- 初めて学校運営協議会に参加させて頂き、学校運営の方向性や先生方の運営に対する取組みを学ばせていただきました。来年度の重要な課題は、やはり学力向上かと考えます。学校として学力向上に重きをおいて頂き、より一層の取組みをしていただきたいです。もちろん、家庭学習への取組みも大事になってきますので、保護者への積極的なご指示もいただけたらと思います。来年度もよろしく願いいたします。